



## タイムマシーンで過去の柳川へ 市民劇団「くもで座」3月公演

市民劇団「くもで座」の公演が、3月23、24日に水の郷ホールでありました。同劇団は、年に3回公演を実施。34回目となる今回は「お別れ遠足はタイムマシーンに乗って」と題し、子どもたちがタイムマシーンに乗って昔の柳川へ旅に出かけるといった物語。団員たちは、弥生時代や壇ノ浦の戦い、関ヶ原の戦い直後の柳川へと次々とタイムスリップした子どもたちが、その時代の人と交流する中で、さまざまなことを学ぶ姿を熱演しました。

閻千代姫に日本の未来を告げる一幕

## どのおひな様にするか目移り

### おひな様里親探し

柳川雛祭りさげもんめぐりの催しの一つとして3月24日、おひな様里親探しが行われました。この催しは、飾らなくなったひな人形を募り、次の持ち主を探すもの。会場の日吉神社（坂本町）の拝殿前には、100セットを超えるひな人形が所狭しと陳列されました。参加者たちは、1体1体、丹念にひな人形を見て回っていました。希望者が多いひな人形の新しい持ち主は抽選で決定。当選者が決まると会場には歓声が上がっていました。



たくさんのひな人形の中からお気に入りの雛を探した

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## 短冊にそれぞれの願いを込めて

### 第42回柳川流し雛祭



願い事を書いた短冊を掘割に流した

さげもんめぐり最終日の4月3日、子どもたちが願い事を書いた短冊を掘割に流す柳川流し雛祭が、柳川古文書館前の川下りコースで行われました。市内の小学生の親子や関係者約400人が16艘のドンコ舟に乗船。柳城双葉子ども会の高田光遥さんと坂本穂乃香さんが、子どもたちを代表して、まつり開催へのお礼を述べました。その後、子どもたちは春の暖かい陽気の中、「サッカー選手になりたい」「ダンスが上手になりたい」などと願いを書いた短冊をそっと掘割に流しました。

## 新しくなったグラウンドで熱戦

### 市民大和グラウンドでグラウンドゴルフ大会

3月23日、市は昨年11月から行っていた市民大和グラウンドの改修工事の完了を記念して、グラウンドゴルフ大会を開催しました。赤、青、黄の3コース、計24ホールの同大会に、柳川市グラウンドゴルフ協会会員234人が参加。1チーム9人から10人単位で各ホールを回り、新しくなったグラウンドでゲームを楽しみました。

白熱した同大会の個人成績は次のとおり（敬称略、かつこ内は所属）。第1位＝渡辺三年（大和）、第2位＝金子新一（柳）、第3位＝横山アサエ（大和）



和気あいあいとゲームを楽しんだ参加者

## 冷凍網一番摘みのりの頂点を決定

### 平成24年度福岡のりブランド推進品評会

福岡県有明海区研究連合会は3月28日、福岡県有明海水産会館で福岡のりブランド推進品評会を開きました。この品評会は、ノリ生産者の品質への意識向上や福岡のりのPRのために毎年行われ、今年で10回目。柳川、みやま、大川、大牟田にある15の各漁協研究会から、ノリ生産者29人ののりが出品。約130人のノリ生産者や関係者が、出品されたのりの味や口どけの良さなどを確かめました。その結果、有明漁協の堤健太郎さんが、第1位の福岡県知事賞に輝きました。



ノリ生産者らが出品されたのりを吟味した

## 俳句

今月の入選作品・課題「雛」

### 初雛お茶をいただきつい長居

田中位緒枝（豊原）

紙雛と遊びし姉妹年老いて  
降るような毬に守られお雛さま  
雛飾り姑から嫁に受けつがれ  
雛日和もてなす白き割烹着  
古雛を飾りて古稀を振り返る  
床の間に祖母の愛した雛飾り  
雛飾るその名も床かし姫小路  
甘酒を茶碗で飲みし雛まつり  
雛飾り誰もが笑顔もて仰ぐ  
初雛をちよつと奮発買いにけり  
雛飾り座るとこなし部屋一ぱい  
雛段を見つめる顔のおだやかさ  
大正の雛に歴史の重みあり  
雛段に里の匂いや通し土間  
愛しさと雅楽の調べ雛まつり  
きれながの顔をてらして雛の燭  
嬰兒の瞳に雛のまぶしかり  
真夜中は雛も眠るか目を開けて  
呼ばれしかおいでなんせと雛の街

【句評】3月3日は雛の日。女兒が生まれると雛を飾り、子  
行く末を祝う伝統を守り継いできた。最近ではさげもんをつり、  
華やかさが増してきたように思う。

本月の位緒枝さんの句。初雛に話し込み、つい時間を忘れて  
いた感じをモチーフに、下五の「つい長居」がこの句の見どころ。  
つばやくような表現にひかれた。

### ◆選者の句

窓口の男雛女雛に混む医院

鬼郎

俳句を募集しています。選者は大曲鬼郎さん。5月の課題は「鶉の巣ほか当季雑詠」です。入選作品は5月15日号に掲載します。●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報聴係（☎77・8425、FAX 74・5520）へ、4月30日（※必着）までにお送りください。